



平成 16 年 9 月 27 日

各 位

会社名 住友化学工業株式会社
代表者名 社長 米倉 弘昌
コード番号 4005
上場取引所 東証・大証第 1 部
問合せ先 経理室部長 安川 毅
(TEL. 03-5543-5160)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 16 年 5 月 14 日の決算発表時に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 17 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)

(単位 :百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	580,000	32,000	17,000
今回修正予想 (B)	620,000	55,000	25,000
増減額 (B - A)	40,000	23,000	8,000
増減率 (%)	6.9%	71.9%	47.1%
(参考) 前期実績 (平成 16 年 3 月期中間)	563,366	22,641	10,651

(注) 営業利益 前回発表予想 30,000 百万円 今回修正予想 48,000 百万円

2. 平成 17 年 3 月期中間単独業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)

(単位 :百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	290,000	10,000	10,000
今回修正予想 (B)	310,000	18,000	15,000
増減額 (B - A)	20,000	8,000	5,000
増減率 (%)	6.9%	80.0%	50.0%
(参考) 前期実績 (平成 16 年 3 月期中間)	279,930	4,308	6,385

(注) 営業利益 前回発表予想 4,000 百万円 今回修正予想 10,000 百万円

3. 修正の理由

(中間連結業績)

売上高は、原料価格の高騰により石油化学、基礎化学の製品価格が上昇していることや、情報電子化学が好調に推移していることに加え、農業化学の出荷も増加していることから、当初予想に対して増収となる見通しです。損益面では、主に情報電子化学、農業化学の業績が改善することや、持分法適用会社の業績が好調に推移することにより、当初予想に対して経常利益が 71.9% 増加し、当期純利益は 47.1% 増加する見通しです。

(中間単独業績)

売上高は、原料価格の高騰により石油化学等の製品価格が上昇していることから、当初予想に対して増収となる見通しです。損益面では、主に情報電子化学、石油化学の業績が改善することにより、当初予想に対して経常利益が 80% 増加し、当期純利益は 50% 増加する見通しです。

(通期連結および単独業績)

上記の通り、中間期の連結および単独の業績につきましては、前回予想を上回る見込みですが、通期の見通しにつきましては、今後の状況を見極めた上、中間決算発表時に見直しを行う予定です。

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上